

平成29年第3回東近江市教育委員会（定例会）会議録

日 時 平成29年3月23日（木） 午後2時00分 開会

場 所 市役所 東庁舎 東A会議室

出席者	教育委員長	谷川 裕一	委員長職務代理者	辻 京子
	教育委員	賀川 昌明	教育長	市川 純代
	教育部長	中谷 逸朗	こども未来部長	黄地 正治
	教育部次長	稲本 正行	管理監（生涯学習担当）	清水 保
	管理監（学校教育担当）	伊藤 晴朗	管理監（国体担当）	石井 義伸
	教育総務課長	大辻 利幸	学校施設課	藤田 孝司
	教育研究所	中野 正堂	生涯学習課長	大菅 昭彦
	歴史文化振興課長	上川 喜久	歴史文化振興課博物館担当課長	河合 菊男
	学校給食センター所長	辻 平	幼児施設課長	三上 俊昭
	幼児課長	坂田 耕	図書館長	松野 勝治
	事務局（教育総務係長）	青木 幸市		

以上21名

事務局 開会

委員長

皆様こんにちは。平成29年第3回教育委員会定例会を開催させていただきましたところ、委員の皆様はじめ管理職の皆様には大変お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。平成28年度最後の定例会になります。第4回からは新たな方を迎えるの定例会が開催されると思います。

3月1日は五個荘あさひ幼児園の竣工式、2日は愛東あいあい幼稚園の竣工式とおめでたい竣工が続いた中で、小中学校の卒業式、幼稚園・幼児園の卒園式には皆様方にご出席いただきまして誠にありがとうございました。おかげで無事に式を終えることができたと思います。私も湖東中学校と湖東第三小学校の卒業式に出席しまして、どちらも良い卒業式であったと思います。

また昨日は滋賀県代表で甲子園に出場した滋賀学園高校が、延長14回の死闘の中で見事に勝利を収め、甲子園で旋風を巻き起こしたことは東近江市民にとっても感動的なことであったと思います。次の26日の福岡大濠高校との試合でも良い勝負ができるよう応援したいと思います。

それでは第3回教育委員会定例会を開催いたします。最初に会議録の承認ですが、委員の皆様には、「第2回定例会」の会議録が事務局から配布されています。確認いただいていると思いますが会議録の内容について異議はございませんか。

各委員

— 異議なし —

委員長

それでは、「第2回定例会」の会議録は承認いただきました。後ほど辻委員と篠原委員に御署名をお願いします。なお、今回の第3回定例会の会事録署名委員は賀川委員と辻委員を指名させていただきます。

それでは次第に従いまして、「1 報告」をお願いします。はじめに、教育長から報告をお願いします。

教育長

皆様こんにちは。いつもこの春の彼岸の頃になりますと思うのですが、三寒四温とは昔の人はよく言ったものだと改めて感じております。

3月は幼稚園・幼児園の終了式、閉園式それから25日にはあかね幼児園の竣工式と、幼児教育に関わるものが目白押しで、非常に忙しい月になっていました。14日は中学校、17日は小学校の卒業式が行われまして、どれも無事に終わることができてほっとしているところです。皆様ご出席いただきありがとうございました。

お手元の資料にもありますように、3月議会に関しましては2月28日から始まりまして、来週の月曜日、3月27日までの期間でございます。議案第31号東近江市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについてという議案は、先にご報告させていただきましたとおり綾さんに引き継いでいただくことになりました。代表質問は5人の方からいただいておりますが、学校教育に関する質問について私の方からご報告させていただきます。

杉田議員から、教職員の残業実態について質問がありました。確かにブラック企業と言われるように、先生たちの超過勤務は偏りがあるのですが、数としては全員がそうではありません。時期的なものもありますが、特に部活動や、生徒指導上に課題がある学校で教職員の超過勤務があります。次年度に向けては、教職員の時間管理・仕事管理能力を高めること、事務の共同実習を行っておりますのでそれをしっかり使ってほしいということをお願いしております。また、業務が一人に重なってしまう事がないように、できるだけ公務の平常化を図るような分掌の振り分けをするようお願いしております。

村田議員からは教育現場の課題についての質問がありました。特にいじめの未然防止に関連しましては、今日の新聞報道にも出ていましたが、すでに文部科学省の動きの中でいじめ防止基本方針の改訂が示されています。それを踏まえて校長・教頭会議では示してきていますので、29年度は各学校の方針を見直すことになると思います。

一般質問の中では2人の議員から質問があり、学校教育に関しては周防議員から各種団体運営と多世代同居志向についての質問がありました。周防議員の意見の中で各種団体の弱体化について心配しているということでした。このことについては各種団体の設置費や運営方法、あるいは活動内容やその団体の役職などについて、今の現状に合っているのかどうか見直しをしていく時期なのではないかという思いがありましたので、22日の社会教育委員会議の挨拶の中でこのことは触れさせていただきました。

3月8日に滋賀学園高等学校野球部の甲子園出場の激励会があり、まずは1回戦突破して2回戦に進むことができよかったなと思います。80歳を超えるお年寄りの方が、甲子園でがんばっている姿を見て自分も元気が出るという会話を昨日聞かせていただいて、改めてスポーツの良さを感じたところです。

3月11日には能登川地区のまちづくり協議会の10周年の記念大会がありました。次の

日の12日は蒲生地区のまちづくり協議会の10周年記念大会がありまして、どちらも出席させていただきました。

3月15日は、29年度県教委の教育行政の指針説明会が4月にありますが、その時の事例発表の依頼にあらためて県の総務課の方が来られまして、簡単な打ち合わせを行いました。

3月17日は、岐阜県中津川で開催されるロボカップジュニアジャパンオープン2017に五個荘中学2年生・聖徳中学校1年生・八日市北小学校6年生の3人の男子がTFIというチーム名で出場するという報告を受けました。

3月21日は学校支援コーディネーター会議に出席しました。その時に説明した資料をお手元に配布しています。昨年度までは定期的に開催されるコーディネーター会議に参加させていただいていましたが、今年度は日程が合わず最後の会議だけの参加となりました。それぞれの地域コーディネーターが前向きに学校教育に関わっていこうとされていて熱い気持ちが伝わり有難いことだと思いました。今年度の校長会議の中でも、来年は市内の31小・中学校全てにこの学校支援地域本部事業を拡張していきたいということをやっていると皆同じ気持ちであろうと思います。

3月22日は昨年の4月1日に亡くなった五個荘中学校の生徒の1周忌の法要でしたので、法要の少し前に大道校長と共に御参りをさせていただきました。

同じ22日には社会教育委員会会議を開催させていただきました。先ほど報告しました議会一般質問にありました、各種団体の弱体化にどう対応していくのかということをお話の中でお話ししました。それぞれの団体の代表の方々と意見交流する中で、各団体の現状や課題等が出されました。このことは生涯学習課の次年度の大きな課題であるなと思っています。文部科学省の生涯学習政策局で「学びを通じた地域づくりの推進に関する調査研究協力者会議」が開かれています。この動向は非常に参考になりますので、この資料を見ながら本市の実状に応じた各種団体をどうしていったらいいのか、また教育委員会の動きはどうしたらいいのかという情報を得ていく必要があると思います。

また社会教育委員会会議の中で、布引小学校を卒業後に学区によって3中学校に分かれる事について、連絡協議会の中で出されていた意見ということでPTA会長から話題提供がありました。年度によっては玉園中学校に入学する生徒が1人2人の年もあり、教育委員会でも以前から懸案の事でしたが、学区制に関しては弾力的な運用、保護者・本人が選択できるシステムを考えていく必要があると感じています。教育委員会での議論が必要ですし、総合教育会議の中でも検討していく課題ではないかと思っています。

同じく22日夕方には、八日市高等学校剣道部が第26回全国高等学校選抜剣道大会に初出場するという事で激励をしました。出場する女子生徒5名のうち3人は1年生で、高校に入学してから初めて剣道を始めたということでした。

今日の午前中には小学校のALT2名が退任しましたので、その挨拶式が行われました。

明日は教職員の管理職・一般職の内辞が一斉に出ます。今日はこの後に関係職員が県のほうへ赴いてその内容を確認してくるようになっていきます。

教育委員会の教育行政は現場が動いてくれて成り立っているところがありますので、本年度最後となる3月の校長会議では一年間の御礼を申し上げました。退職される校長先生に対しては今までの長年の労をねぎらわせていただきました。

卒業式に関しては、卒業生は希望を持って次の学校へ進んでもらわなければなりません

し、在校生の小学校5年生と中学校2年生は次期最高学年として学校を引っ張っていく立場となりますのでその自覚を促すような式であってほしいとお願いしました。

次年度に向けては予算との関わりもありますが、幼小中連携推進事業は特にしっかりとやっていたかなくてはならない3年次となります。これは地域と共有して地域ぐるみの子育て教育をしていただかなくてはなりませんので、そういう意味でも充実させていく必要があらうかというふうに思います。それを助けていく1つのものが、学校支援地域本部事業です。文科省は新年度からコミュニティスクールへの移行を努力義務とするというふうに法改正をしていきますので、地域学校共同本部の設置を見据えた取り組みを進めていく必要があらうかと思えます。幼小中連携推進事業も学校支援地域本部事業もともに管理職の姿勢によるところが大きいので、そういうところも声を大にして依頼をしました。

3つ目は学校教育の充実を図ってほしいということです。総合教育センターの研究者として本市の職員を派遣していますが、児童の学びを深める国語科の授業づくりという研究をしていますので、ぜひその内容も学校の研修の中で活かして先生方に力をつけてほしいというふうに紹介もしながらお願いしました。

今日の新聞にも教職員の世代交代について載っていましたが、10年ほど経験しただけで中堅教員として若手を引っ張っていかなくてはならない。だから大学と現場と研究所などと役割分担ではなくて一緒にやっついていかなくてはならないというような方向性が示されています。学校は学校の中で今まだ残っている年配の先生方が引き継いできているもの、その学校での教師の文化などを明文化しながら継承していく必要があります。だからマニュアル化するなどしながら引き継いでいってもらいたいということを改めて依頼いたしました。

学校問題対策支援室も2年が過ぎます。かなり学校を回ってくれていますので、先生方の負担軽減にもなっているのではないかと思います。不登校の子供たちを特化して対応している児童生徒成長支援室とお互い連携して相談事業を充実していく必要があるかと思えます。特にいじめの重篤化、不登校の未然防止に努めている、その中で教職員の対応力を向上し教育相談も充実して教育力の向上も図っていかなくてはならないということです。改めて室の設置意義と特徴を新たに学校教育の充実を図ってほしいということをお願いしました。

議会の中では先ほどの教育委員の任命のこともありましたが、今予算要求している一般会計の当初予算の内容と、教育委員会予算の充填について当初予算案概要にて説明をしました。

最後に教育長を務めた5年半を振り返ってのお話させていただきました。このことについては委員長の話の後、また最後に話をさせていただきます。以上です。

委員長

ありがとうございました。ただいまの報告についてご意見ご質問はございませんか。

各委員

— 意見・質問等なし —

委員長

質問がないようですので、続きまして教育部長から報告をお願いします。

教育部長

現在会期中の3月議会の代表・一般質問がございました。教育委員会には直接的な質問は、代表質問5名、一般質問2名の7議員からいただきましたので、教育長からの報告ありまし

た以外について再質問を中心にご報告させていただきます。

まずは、学校施設関係では、代表質問で市木議員から学校体育施設の便所の改修完了目標年度について質問いただき、目標年度については平成32年度とお答えさせていただきました。

次に、同じく代表質問で杉田議員から教育施設の整備の学校の整備基準、改修計画についての質問で、以前の資料では改修計画、改築計画の年次が入っていたのに今回の答弁では明確な基準がないとの答弁は矛盾しているとの再質問をいただきました。このことにつきましては、これまで文部科学省の補助の規定に基づいて一定の築後の年数を目安に耐震化を優先し大規模改修工事を実施し、適切な維持修繕を図ってきたところではありますが、国の財政事情もあり今迄のように申請すれば採択というような状況とならなくなりました。合わせて国も学校施設の老朽化対策は長寿命化を進めることが柱となってきたことから、改修工事の目安を見直すこととお答えをさせていただきました。

なお、35年経過した学校で耐震化はしたものの改修が未着手の学校もあり、教育部としては未着手の学校につきましては、順次現場状況を個々に確認し計画は立てていく考えであることもお答えさせていただきました。

次に、同じく代表質問で田郷議員から要保護世帯、準要保護世帯への入学準備金の単価の引き上げ、就学援助費の時期の変更、給食無料化の答弁に対して再質問いただきました。入学準備金の単価の引き上げについては、国に準拠し引き上げるお答えをさせていただきました。就学援助費の時期の変更については、国も動きがあることから県内の動向も踏まえ慎重に検討したいとお答えさせていただきました。給食の無料化につきましては、財政的にも大きな支出となり、食費は一般的には個人の負担に帰すべきで、保護者負担としている給食費は食材料費であることから、現段階では給食費の無料化は適当でないとお答えをさせていただきました。

次に同じく代表質問で西澤善三議員から近江商人郷土館の施設利用について再質問いただき、郷土館は幕末期の近江商人の関係もみることができ、学習できる館と思っておりますが、財団法人であることから入館料も必要となりますが、今後学習の場として検討するとのお答えをさせていただきました。

次に一般質問では周防議員から船岡中学校・あかね幼稚園の排水対策については、しっかりと地元と信頼関係を築くようお願いされたところです。

次に一般質問で岡崎議員からは、食中毒が起こった時の訓練をしているかの再質問をいただきました。訓練はしていませんが、学校給食センターよりしっかりと食中毒発生時対応マニュアル等を学校に周知しているとお答えをさせていただきました。

次に一般質問で戸嶋議員から関連でPCB予算の詳細について再質問いただき、処理費用の主な内訳として低濃度のPCB廃棄物 350kgの廃棄物運搬処理費用のほかにそれに関連する費用であるとお答えさせていただきました。

最後に一般質問で安田議員から関連で健康寿命延伸取組の具体例の再質問をいただき、その一例を挙げさせていただきました。平成26年度から28年度にかけて、奥永源寺の体力測定と体力アップ健康教室を開催いたしました。地元自治会、奥永源寺スポーツクラブ、健康推進委員、湖東リハビリセンター、びわこ学院大学、スポーツ推進委員協議会と連携し、年度によっても異なりますが、年数回開催し、延べ150名の参加を得て、教室の最終回に改めて体力測定を行った結果、約47%が向上、維持が18%、低下が35%という結果で、

今後も継続して取組んでいきます。とのお答えをさせていただきました。

以上私がお答えさせていただきました主な内容で報告とさせていただきます。

委員長

ありがとうございました。続いて、こども未来部長から報告をお願いします。

こども未来部長

教育委員の皆様には、3月15日の幼稚園の修了証書授与式、並びに、市辺幼稚園、平田幼稚園の閉園式にご臨席賜りましてありがとうございました。

また、3月1日の五個荘あさひ幼児園、3月2日の愛東あいあい幼稚園の園舎竣工式にもご臨席賜りましたこと重ねてお礼申し上げます。おかげさまで4月から新たなスタートを切ることができます。愛東南幼稚園・北幼稚園につきましては、18日に新園舎へ引越し作業を行いまして、現在、入園準備に取り組んでいるところです。今年度、残るあかね幼児園につきましても3月25日に竣工式を執り行います。土曜日にご足労ですが、ご臨席賜りますようよろしくお願いいたします。

こども未来部からも、3月議会の質問・答弁について報告させていただきます。代表質問を4会派からと一般質問をお2人からいただきました。主な質疑と答弁について説明いたします。

まず、待機児童解消策について、今後の子育て世帯の推移と施設整備や保育士の確保策についての質問がありました。子どもの数については、今後も減少する見込みですが、平成29年度に子ども子育て支援事業計画の中間見直しを行う中で、より正確な数を把握に努めたいと考えています。施設整備については、(仮称)中野みつくり幼児園を平成30年度に開設する他、公立の認定こども園の整備や、民間の保育所・小規模保育事業所を誘致することとしています。そして、新年度から宿舍借上げ補助金の交付や出前保育士就職フェアを開催すること等により保育士の確保を図り、待機児童の解消に努めることを答弁しました。

次に、子育て家庭の支援策としては、第3子以降の保育料について、年収470万円未満の世帯を無償としており、年収470万円以上の世帯についても市独自に半額に軽減しています。また、平成29年度からは市町村民税非課税世帯については第2子についても保育料無償化を実施して、子育て世帯の経済的負担軽減に取り組むことを答弁しました。

そして、能登川ひばり保育園の認定こども園化計画についての質問がありました。能登川地区については、近年、想定以上に入所希望者が増加しており、従来の計画では対応できなくなっています。そのため、子ども子育て支援事業計画を見直し、能登川第一幼稚園を認定こども園化すると共に、能登川ひばり保育園については、平成31年度の開園を目途に別の敷地で民間保育所へ移行する計画であることを答弁しました。

私からの報告は以上とさせていただきます。

委員長

ありがとうございました。各部長から報告がありましたが、何かご意見ご質問はございませんでしょうか。

各委員

— 意見・質問等なし —

委員長

では、続きまして「2 議案」に移ります。議案第4号「東近江市指定文化財の新指定について」担当から説明をお願いします。

歴史文化振興課長	— 資料により説明 —
委員長	ただいまの件について、ご意見ご質問ありませんか。
各委員	— 意見・質問等なし —
委員長	では、議案4号につきましてはご承認いただけますでしょうか。
各委員	— 異議なし —
委員長	<p>それでは、議案4号については原案通り承認といたします。</p> <p>議案は以上ですので、続きまして「3 報告協議事項」に移ります。「平成29年度東近江市教育行政基本方針」について担当から説明をお願いします。</p>
各担当	— 各担当から説明 —
委員長	ただいまの各課からの報告について、ご意見ご質問はありませんか。
篠原委員	<p>いろんな施設の整備や改修工事などが計画を含めてたくさんありますが、説明を聞いただけでは一度に把握できませんので、計画段階などがひと目でわかるような一覧表のような資料があるといいのですが。</p>
教育部長	<p>前回お配りした資料には来年度の計画は載っています。教育部では作成途中の資料がありますが、こども未来部の計画と合わせて整理したものを作成して委員の皆さんに見ていただけるようにしたいと思います。</p>
委員長	ほかにご意見ご質問はありませんか。
賀川委員	<p>主要事業の概要の一覧表の中に、リーディング事業の欄に●がついている事業がありますが、これは29年度のリーディング事業という意味でしょうか。</p>
教育総務課長	<p>リーディング事業は、教育振興基本計画において31年度の前期に重点的に実施する事業のことです。</p>
賀川委員	<p>教育振興基本計画の進捗管理に関して、昨年も評価の方法について質問をしましたが、今年度は評価作業を進めていただいていると思います。基本方針にある主要事業が教育基本計画の施策体系のどこに当てはまるのか、そのように実施されているのかを確認した上で、事業の方向性をそうするかを決める必要があります。例えば、単年度で解決するものとは限らない事業もありますし、目的を達成したから縮小してくものや、できていないのでこれから拡大してやらなければいけない事業など、計画の目的を達成するために、各事業をどうすれ</p>

ばいいかを理解できる内容になればと思います。計画に記載されているにも関わらず事業ができていないものや、既に施策の目的を果たしたため事業が完了したもの、今年度は上がっていないが、今後実施していくものなど、それが一覧になっていて、評価ができれば分かりやすい資料になると思います。冊子にはなっていないのでしょうか。

教育総務課長

今年度は、教育振興基本計画の施策に関して、内部評価を実施しました。事務事業の進捗管理とは別に平成27年度分の施策評価は概ねできていますので、整理後にお配りしたと考えています。それを見ていただきますと、各施策が実施できているのかを、事務事業と結びつけて確認いただけたらと思います。

辻委員

2ページが一番下「スポーツのもつ高いアピール力を生かします。」はちょっと意味がわからない感じがするのですが。

教育部長

私も同じようなことを感じていましたので直すように指示していたと思います。確かにわかりにくいと思いますのでもう一度直すようにします。

辻委員

教育委員会の主要事業の概要一覧の中に、福祉課など他の課と共同で行うような事業などは記載されていないのですか。

教育総務課長

これは教育委員会の教育部と子ども未来部の各課で所管している、予算がついている事業の一覧です。ここにある事業の中でも他の部署と連携していく作業はあろうかと思っています。

辻委員

共同企画のような事業はないのですか。

歴史文化振興課長

市全体の予算の概要書にも日本遺産のことが書いているのですが、これには歴史文化振興課の分だけでなくもっと大きな金額があがっています。それはいろいろな課が連携しています。それをみていただけるとわかるかと思っています。

委員長

本基本方針につきましては、4月3日開催の第4回臨時会において決定する予定ですので、ご意見・ご質問がある場合は、事務局まで連絡してください。

他にご意見ご質問がなければ協議事項は以上になります。

続きまして「4 報告事項」に移ります。

「福祉教育子ども常任委員会案件」について各担当から説明をお願いします。

各担当

— 各担当から説明 —

委員長

この件についてご意見ご質問等ございませんか。

賀川委員

先ほどの文化財のところですが、現段階では個別の保存法で、最終的にそれを保護するにはかなり経費や労力がかかり、いろんな生活制限も受けますが、それを考えていくと、ここだけじゃなくてどうやって活動していくか、合わせて考えていかないと保存してもお荷物に

なりかねないという気がします。個別の点ではなく、全体的な面でどう活用すべきか今後の課題として考えていってほしいと思います。

歴史文化振興
課長

この資料にありますように関連文化財群・歴史文化保存活用区域というのが、1点の点ではなく線や面というような塊として見て東近江市全体を把握するようにしています。一番の狙いは文化財としてだけではなく、これらを塊という形で見ることによって他の観光面や都市計画の中でも利用していくことができるようにほかの課とも話をして取り組んでいこうとしています。

委員長

ほかにご意見ご質問はありませんか。

各委員

— 意見・質問等なし —

委員長

それでは、続きまして「5 その他」に移ります。各課から報告をお願いします。

各担当

教育研究所・・・教育研究所だより
生涯学習課・・・報告事項
歴史文化振興課 博物館G r・・・報告事項
図書館・・・報告事項
その他

委員長

各課からの報告について、ご意見ご質問等ございませんか。

各委員

— 意見・質問等なし —

委員長

以上で全ての案件も審議が終了しました。全体を通してご意見・ご質問はありませんか。

各委員

— 意見・質問等なし —

委員長

次回の日程ですが、次第にありますように「第4回臨時会」は平成29年4月3日（木）12時から、赴任式終了後に「湖東コミュニティセンター」で開催いたしますのでよろしくお願い申し上げます。その他、日程等の連絡事項を事務局からお願いします。

事務局

— 当面の日程についての説明 —

委員長

では、以上をもちまして平成29年第3回教育委員会定例会を終了させていただきます。本日は皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。

委員長

— 最後の挨拶 —

教育長

— 退任の挨拶 —

会議終了 午後4時00分

会議録署名委員

会議録署名委員

委員長
